

デジタル田園都市国家構想総合戦略の実行について

令和5年3月31日
広島県知事 湯崎 英彦

- 今回、総合戦略の具体的な進め方に加え、各省庁から構想の実現に向けた具体的施策のご説明もあり、今後、日本各地でデジタルを活用した取組がより加速していくものと心強く感じている。
- デジタルの力を活用した地方創生の実現に向けては、
 - ・成功事例の横展開がなじむ課題については、デジタルの力を早く取り込んでいくとともに、成功体験を積み重ねるという観点から、徹底的な横展開を進めること
 - ・試行錯誤を必要とする課題に対しては、トライアンドエラーを積み重ねながら、地方自らが率先して挑戦することの双方が重要であることを、これまでの会議で述べさせていただいたところ。
- 横展開を徹底的に進めるうえでは、優良事例を共有するだけでなく、国と地方が意見交換しながら、横展開の取組が各地域で実践される仕組みを作ることが重要である。

また、これまでにない新しいソリューションの創出など、チャレンジングな目標を促進する取組も、確実に社会のデジタル化に資することから、デジタル田園都市国家構想交付金による財政支援の対象となるよう、制度の拡充を図っていただきたい。
- なお、地方でデジタルの取組を持続的に進めるためには、デジタル実装を支える人材や企業、更には、デジタル技術を活用するノウハウ等を地域に蓄積させることが重要である。
- このため、デジタル田園都市国家構想総合戦略の実行においては、デジタル人材の蓄積の状況や企業におけるデジタル投資の状況について、国全体だけでなく、地域ごとの現状が把握可能なデータを示していただきたい。

その上で、地方自らが、その地域の実情に応じた取組を進められるよう、引き続き、具体的な支援策の検討を進めていただきたい。